

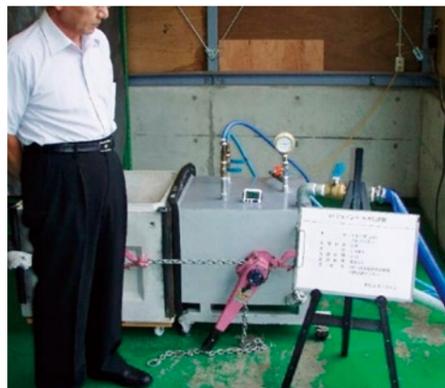
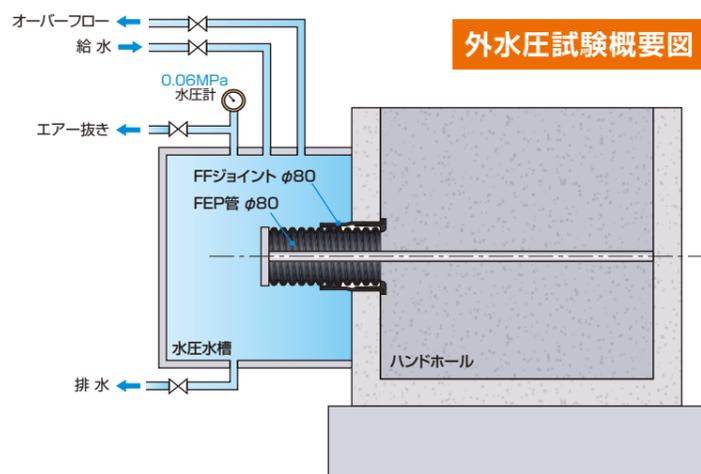


外水圧試験

一般財団法人日本品質保証機構による現地確認試験内容は以下の通りです。

1. 使用したジグ及び計測機器
 - (1) 機械式圧力計「測定範囲(0~0.3MPa) 目量0.005MPa」
 - (2) 本管 (FEP管: 呼び径80)
 - (3) ハンドホール
 - (4) ストップウォッチ
2. 試験方法 (下図参照)
 - (1) ハンドホールと本管 (FEP管: 呼び径80) とを、FFジョイントを用いて接続した試験体を外水圧試験機に取り付ける。
 - (2) 下記の条件で固定する。
 - ① Fパッキン 呼び径80
本管位置: 正常
 - ② TKパッキン 呼び径80
本管位置: 正常
 - ③ Mパッキン 呼び径80
本管位置: 正常
 - (3) 外水圧試験機に水道水を注入し、水圧を0.06MPaに調節し、30分間保持する。
 - (4) 30分間経過した後、壁接合部からの漏水の有無を目視にて確認する。
3. 試験結果

いずれの条件(①,②,③)でも壁接合部からの漏水を認めなかった。



JQA立会試験

SANRITSU 株式会社 サンリツ

■ 本社 〒930-3251 富山県中新川郡立山町上中143番地
Tel.076-462-9325 Fax.076-462-9334
✉mail@sanritsu.com

■ 技術センター(相談窓口) ☎0120-300-635

- 仙台支店 Tel.022-796-7370 Fax.022-796-7380
- 関東支店 Tel.048-686-8892 Fax.048-686-8849
- 北陸支店 Tel.076-462-9328 Fax.076-462-9334
- 名古屋支店 Tel.0568-71-0699 Fax.0568-71-0944
- 九州支店 Tel.0942-84-1274 Fax.0942-50-8460
- 上中工場 Tel.076-463-5813 Fax.076-463-5819
- 工事部 Tel.076-462-0360 Fax.076-462-9329

詳しい情報はホームページで <http://www.sanritsu.com>

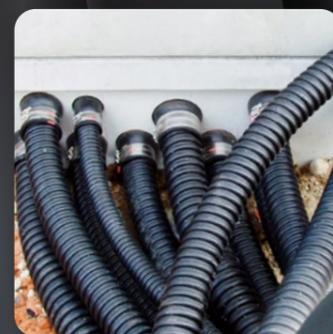
※このカタログに記載の寸法・仕様などは製品改良などにより予告なく変更する場合があります。

ゴム製ハンドホール継手

国土交通省NETIS登録
(新技術情報提供システム)



FFジョイント



高い止水性!

- 長期の納入実績において漏水クレームなし。
- 水膨張不織布は不使用の為、取付直後からずっと変わらない止水性能を保ちます。

耐震性に優れている! 業界初

施工が簡単!

- ノックアウトの段差でも取付可能
- 工期短縮・トータルコスト削減に役立ちます。



FF JOINT

ボンド乾くの
待ってます?

水漏れで追加作業していませんか?

FFジョイントなら、
その間に埋め戻しまで
出来ますよ!

FFジョイントなら
不要です!



株式会社 サンリツ



FEPに対応したハンドホール用耐震性継手

特長

継手自体に可とう性能をもたせませす! 業界初

- 本体がゴム製であるため継手自体に可とう性能(±15°以上)があり、ハンドホールとFEP管の縁切れを防止することができ、耐震性に優れます!

かんたん施工で水密性能を発揮します!

- 外水圧0.06MPa、30分間に耐える止水性能を発揮します!
- *JQA(一般財団法人日本品質保証機構)にて試験評価を得ています。

現場の水で苦労された方に朗報です!

- 追加の部材なしで優れた水密性! 水の多い場所、水位の高い場所、施工条件の厳しい現場でもかんたんに止水できます!

モルタル、エポキシなどの接着剤は一切不要です!

- 高価なエポキシなど追加部材はありません! 特殊な工具も不要です!
- FEPは螺旋形状のもの、螺旋形状でないもの問わず使用できます!

工場取付にて出荷可能!

- 現場での作業はFEPにパッキンをねじ込み、ステンレスバンドを締めるだけ。

適応削孔径

単位: mm

適応管種(本管)	FEP(波付硬質合成樹脂管)					
呼び径 (a)	φ30	φ40	φ50	φ65	φ80	φ100
削孔径 (b)	60	75	90	110	130	160
ショートタイプ (c)	125	125	125	125	130	130
ロングタイプ (c)	205	205	205	205	210	210

適応壁厚 (d)	ショートタイプ	80mm未満	ロングタイプ	150mm未満
----------	---------	--------	--------	---------

この技術は、登録・確認されています

ネティス
「NETIS」
登録商品



登録番号: HR-110014-A

- 国交省から認定された商品で、施工業者は国交省直轄工事において、この商品を使うと技術評価点が加点され有利となります。

◎東日本大震災で耐震性が確認できました。

- 震度5弱を観測した岩手県盛岡市内の施設で、FFジョイントを取り付けたハンドホールに破損、浸入水はありませんでした。(従来の工法では、取付部からの浸入水がみられました。)

各部の名称・取付断面図



施工手順

ハンドホールへの取り付け

FEPの取り付け

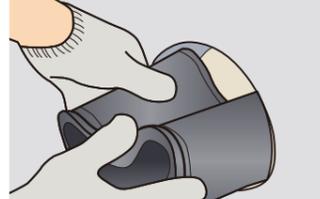
1 削孔面の清掃

ハンドホール内側



削孔面を清掃します。
※段差等がある場合は補修してください。

2 本体ゴムの取り付け



本体ゴムのプチルテープ及び両面テープの離型紙を剥がし、ハンドホール内側から削孔面にセットします。
※ハート型に丸めるとセットしやすくなります。

3 ベルマウスを挿入



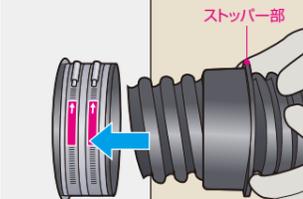
ベルマウスを挿入し、ハンマーでベルマウスを上下左右と均等に打ち込みます。
※ベルマウスを水で濡らすと挿入しやすくなります。
※打ち込み後、ベルマウスの「ゆるみ」がないことを確認してください。

4 FEPの取り付け



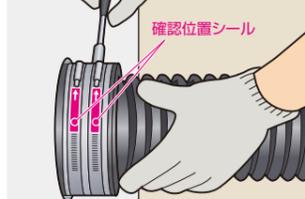
切管を行い、FEPを清掃し付着物が無いことを確認してください。その後、FEPにパッキンを規定の位置までねじ込みます。
※切管はハンドホール内側から10mmの位置です。

5 FEP挿入



FEPを本体ゴムにパッキンのストッパー部の所まで挿入します。

6 ステンレスバンド締め込み



ステンレスバンドをボックスドライバーで締め込み確認位置シールの「↑」位置まで締め込みます。
※締め込みがゆるく感じられる場合は増し締めしてください。

⚠️ 注意事項

- 削孔面に段差等がある場合は、補修してから製品を取り付けてください。
- セットハンマーでベルマウスを打ち込む場合は当て木等を使用し、直接たたかないでください。ベルマウスが割れる場合があります。
- 切管はハンドホール内側から10mmの位置(各部の名称・取付断面図参照)で切断してください。
- パッキンは各メーカーの形状に合わせた専用設計となっておりますので、専用のパッキン以外は使用しないでください。
- ステンレスバンドの締め込みは、漏水の原因になりますので、規定の位置まで必ず締め込みしてください。
- 埋戻しの際、不同沈下が生じないように、継手下部は充分に締め固めてください。

施工に必要な工具

- プラスチックハンマー
- ボックスドライバー (8mm)

HP 施工方法は、HPにて動画で確認できます。
<http://www.sanritsu.com>

施工方法の動画は、QRコードからアクセスします。



※QRコードは(株)デンソーウェーブの登録商標です。